

第4回大分市教育ビジョン検討委員会 会議要旨

日時：令和元年11月11日（月）15:00～15:30

場所：大分市役所第2庁舎6階大研修室

○出席委員10名、欠席委員なし

次 第

(1) 開会

(2) 議事

中間まとめ・報告書（案）の検討

①基本構想～基本計画（重点施策の体系）

②基本方針1 生きる力を育む学校教育の充実

③基本方針2 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

④基本方針3 社会教育の推進と生涯学習の振興

⑤基本方針4 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

〈主な意見・質問等〉

委員	主権者教育に関すること、主権者教育という用語と考え方が明確に書き込まれたことがとてもいいことだと思う。今の日本の学校教育の中で弱い部分ではないかと思うので、小学校、中学校、そして高校においてもぜひ充実に努めていただければと感じる。
委員	特別な配慮を必要とする児童生徒に対する支援の充実に関して、「日本語能力が向上し、授業が分かるようになった児童生徒の割合」というのは、どのように測定するのか。他の指標の比較基準が全国的な観点から明記されるようになったのは非常にいいことだと思うが、この指標ではその部分が弱いと感じる。
事務局	この指標の文言の「日本語能力が向上し」というところについては、国の調査がない。市教委が年度に一回日本語指導を必要としている学校に対して行うアンケート調査による指標である。
委員	評価するためにはきちんとした測定が必要である。何をもって授業が分かるようになったとするのかが明示されていない感じがする。他の指標で明示されたからこそ気になったところである。
委員	ジュニア検定の指標については、受検者数を指標とすることが適切だと思う。2024年度の目標値を1,000人とした根拠は何か。また、クリアできる見込みはあるのか。
事務局	検定は過去3年行われており、1年目が143人、2年目が140人、3年目は81人であり、平均が121人である。それを踏まえて1,000人を目標値とした。

委員	累計であるので1,000人までいけそうだということでよいか。
事務局	努力する。
委員	合格率がそれほど高くないので難しい検定のようなのである。受検者数1,000人という目標値を達成するためには、子どもたちがやる気を持って挑戦する気持ちになるための雰囲気作りも大切であると思う。

(3) その他

<p>○パブリックコメントは令和元年12月13日(金)から令和2年1月14日(火)までを予定</p> <p>○第5回大分市教育ビジョン検討委員会は、令和2年2月上旬に開催</p>

(4) 閉会